



日本専門新聞協会加盟 国土交通省交通運輸記者会所属 観光経済新聞社

歯みがきセントの五ツ星 ファイブスター

本社テーマ 21世紀 観光立国宣言の推進を

旅行クーポン 決済代行システム

来年6月メドに新団体

日観連・国観連

「対等合併」で合意

「対等合併」で合意 日観連・国観連 存続法人は国観連

基本合意は、総会直前、6月7日に両会長が会談したのを契機に始まった。最終的に日観連は10月25日、国観連は11月9日の理事会で承認した。両団体は合併に合意した。



基本合意は、総会直前、6月7日に両会長が会談したのを契機に始まった。最終的に日観連は10月25日、国観連は11月9日の理事会で承認した。両団体は合併に合意した。

光立国の基礎を築く必要があり、日本旅行の文化・伝統を継承し発展を図る必要がある。3つのポイントを挙げた。①国観連の経営環境は急激に厳しさを増している。②個々の経営努力では対応できない問題も出てきた。③再生支援に乗り出さなければならない。国観連は海外客誘致を目的とした経緯があるが、国内観光を重視し、日観連と一体化して再生支援に乗り出さなければならない。日観連は「観光振興を推進する」と語った。

佐久間会長も「時代の要請は、あるいはなくならない。この統合の意味は、大同小異という認識で一致した。金融上の問題も解決した。観光業界の再生支援に力を入れたい」と語った。国観連の代表者は「国観連の再生支援に力を入れたい」と語った。

合併への反応と期待の声

柴田耕一・国土交通省 観光政策課長 合併は、観光業界の再生支援に力を入れたい。国観連の再生支援に力を入れたい。国観連の再生支援に力を入れたい。

新時代の経営を探る

提言 解説

RCC (整理回収機構) 条件クリアは再生 栃木県 重点地域に位置づけ

旅館・ホテルは装置産業だけに、オープン当初から、債務超過(ほとんどの金融機関からの融資を返済)の状態、金融対策がいつまで経っても回らないのが宿命でもあった。それだけに、よその金融機関などが倒産したりすると、あつちの地域にも、という一抹の不安がよぎった。

RCC (整理回収機構)

条件クリアは再生 栃木県 重点地域に位置づけ

旅館にリニューアルは欠かせない (写真と本文は関係ありません)

音声・動画CM付 本社ホームページ

レジオネラ菌・大腸菌・一般細菌の殺菌 ヨードパワースystem

富士の百態

観光指針

富士河口湖温泉 湖山うぶや